

令和5年8月1日

九州医学技術専門学校
校長 城 宏史 殿

学校関係者評価委員会
委員長 金原 俊輔

学校関係者評価委員会報告

令和4年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員

委員名	所属先	役職名	備考
金原 俊輔	長崎メンタル株式会社	代表取締役社長	
中尾 暢隆	長崎医学中央検査室	常務	企業
松野 大輔	長崎セントノーヴァ病院	事務次長	同窓生
梶原 恵	神村学園高等部 大村学習センター	センター長	
奥村 亮子	一社) 日本青少年育成協会 キャリア教育委員会	長崎事業責任者	
前田 陽二	葉山町自治会		元私立高校教諭

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和5年 7月21日(金) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

令和4年度九州医学技術専門学校自己評価をもとに評価

今年度に関しては、第1回委員会にて、令和4年度全期評価について、松田教務部長より、学校自己評価の説明が行われたのち、学校自己評価をもとに、項目別でなく、全体的な学生像についての意見が活発に出された。

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

松田教務部長より

評価基準は1～4にて行う。

目安は下記の通り。

4：十分に達成している

- ・目標に対して具体的方策が進行しており、当初の成果が得られていると判断される状態
- ・具体的方策を実施であり、漸次その成果を検証しつつある状態

3：おおむね達成している

- ・改善に向けて共通理解を持ち、具体的方策の実行に着手しつつある状態
- ・改善の必要性に対して理解があり、具体的方策に対して取り組もうとしている状態

2：どちらかという達成されていない

- ・改善の方向性は持っているが、共通理解が十分ではなく、全体として停滞が目につく状態
- ・改善の方向性を探っている状態

1：ほとんど達成されていない

- ・問題意識を持つてはいるが、手つかずの状態
- ・現状に満足し、問題意識にまで考えが及んでいない状態

臨床検査科

最大の目標である「臨床検査技師国家試験合格からの全員就職」に向け、1年次より様々な対策を行っている。

その最大目標を達成するための「具体的方策」と「具体的取組」を設定し、それぞれの評価を前期・年度末において行った。

国家試験に向けて、全25回のGoogle134を使用した校内模試を行った。また、過去問対策、セミナーハウスでの補講等を十分に行ったが、国家試験合格も目標とする100%を達成することができなかった。(反省点を踏まえて、令和5年度の対策にも取り組んでいる)

1,2年生にも3年生と同様の校内模擬試験を解かせ、意欲向上に努めている。グループ学習にも取り組むようにしている。

自己評価結果を保護者・卒業生へ配布を行っておらず、低い評価となっている。

内勤教員の授業評価アンケートを、令和4年度は実施した。(Google フォームを活用)

医療秘書科

最大の目標は「全員就職」である。そのために各種検定試験合格を目指し、指導に取り組んでいる。

卒業生講話の実施、12月以降の早期就職（インターンシップ）に出ても、月1回登校日を設け、お互いに情報共有に努めた結果、年度内に離職する学生はいなかった。今年度は、新しい試みとして、「診療報酬請求事務能力認定試験」（試験会場：福岡）を7月に受験するようにし、1年課程ではあるが、資格取得できるよう頑張らせたい。

以下は評価に対してご意見を頂戴したところのみ記載。

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

今後の課題(要望)

- ・社会ニーズにこたえられる人材育成を目標とするならば、国家試験合格は必須と思われる。
- ・コロナ問題などにより、優秀な臨床検査技師の需要が益々高まるとされる。さらなるご努力を期待する。
- ・新卒者の国家試験合格率が低かったのは、なぜか。この結果で、評価 B は適当でないのでは？
- ・令和3年度と比較して、卒業率、就職率が上がっており、評価も C から B、B から A へ上がっているのは素晴らしいと思う。
- ・どんな職場でも、窓口受付での第一印象がその職場のイメージを決定づけます。特に不安を抱えて訪れる病院患者にとって受付の対応は重要です。患者が安心感を持てるような対応ができる人材育成を期待する。(医療秘書科)

《 1. 教育課程・学習指導 》

今後の課題(要望)

- ・就職先との連携を強化して欲しい。
- ・アクティブラーニングでは、どのような実施法を取られているか？
- ・基礎力向上に努められているが、学生の学力アップにつながっているかが不明。小テスト等の結果はどうだったのだろうか。
- ・実習態度不良の学生への指導はどうなっているか。

《 2. 生活指導 》

今後の課題(要望)

・挨拶や礼儀は基本。以前、かなり問題のある学生が多かった印象があるが、現在はどうか。

《 3.進路 》

今後の課題(要望)

- ・「病院見学」をコロナ禍のため行えなかったのだから、「D」ではなく、斜線にするべきでは？

《 4.社会人基礎力 》

今後の課題(要望)

- ・考える抜く力が令和 3 年度はAだったが、令和 4 年度Bになったのは、何か変化があったのだろうか？

《 5.広報 》

今後の課題(要望)

- ・「生徒募集」の項が、すべて「A」であるところに、貴校の懸命の努力が伺える。

《 6.組織・運営 》

今後の課題(要望)

- ・生徒による教員の授業評価の結果、問題となる教員はいなかったのか。
- ・アンケートの結果は非常勤講師へのフィードバックを行う予定はあるか。

《 7.施設・設備 》

今後の課題(要望)

- ・インターネットへの業務以外のアクセスが「B」であった件については、もし昼休み時間中のアクセスだった場合は、了承しても良いではないかと感じた。

その他、気づき

- ・全体的に、細部に目を配られて、チャレンジしている様子が伝わってきた。

- ・学校自己評価とその公表が求められるようになって、かなりの年数が経つが、マンネリ化、機械的になりがち。様々な面での改善につながるよう今後も努力されることを期待。

- ・「実習」の際に、2 年生が 1 年生を「指導」する取り組みは、非常に良い。学習面において、ある項目について理解できない学生に対して、理解できる学生が教える。学習面でもピアサポート制度を導入されるもの良いかと思う。授業評価の結果をレーダーチャート等にして、非常勤講師にも、フィードバックして欲しい。教員も振り返りが必要。